

【見開きデータを制作する手順】

【かぶせ無しデータ】

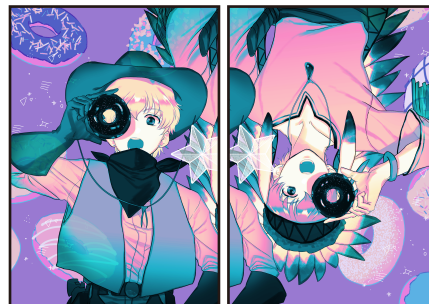


※分かりやすいように
ページごとに黒枠を入れています

【かぶせ無しの仕上がりイメージ】



【かぶせありデータ】



※分かりやすいように
ページごとに黒枠を入れています

【かぶせありの仕上がりイメージ】



無線綴じ冊子の場合、ノドに巻き込まれてしまう部分を仮定して

3～10mmほど左右のページでイラストが被る部分を作る必要があります。

右図のようにデータ上は一致しませんが見えなくなる部分を考慮して重なる部分を加えます

※使用する用紙や見開きを配置する場所によって大きく異なりますので、細かなご案内はいたしかねます

中綴じ冊子の場合には通常必要ありませんが見開きの位置によっては少し見え辛くなる可能性があります。

【見開きデータを制作する手順】

【タテ】
(見開きサイズ)+(塗り足し6mm) × 【ヨコ】
(見開きサイズ)+(塗り足し6mm) - (かぶせ部分)
のキャンバスを制作

【①かぶせ部分を10mmにした例】

※フルカラーは350dpi、モノクロは600dpiで制作してください。

OB5の場合

幅(W) :	360	mm	▼
高さ(H) :	263	mm	▼

257mm+塗り足し6mm=263mm × (見開きサイズ364mm)+(塗り足し6mm)
-(かぶせ部分10mm)=360mm

→263mm×360mmのキャンバスを制作

OA5の場合

幅(W) :	293	mm	▼
高さ(H) :	216	mm	▼

210mm+塗り足し6mm=216mm × (見開きサイズ297mm)+(塗り足し6mm)
-(かぶせ部分10mm)=293mm

→216mm×293mmのキャンバスを制作

【中綴じの場合】※かぶせ0mmと仮定しています

OB5の場合

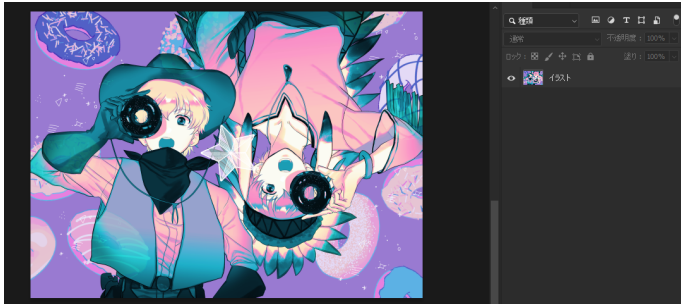
263mm×370mmのキャンバスを制作

OA5の場合

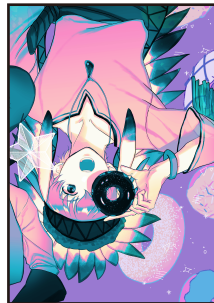
216mm×302mmのキャンバスを制作

【見開きデータを制作する手順】

【②制作したキャンバスにイラストを配置】



【③左右からテンプレート本文サイズで切り取り、単ページデータを制作】



B5 の場合…188mm×263mm

A5 の場合…154mm×216mm

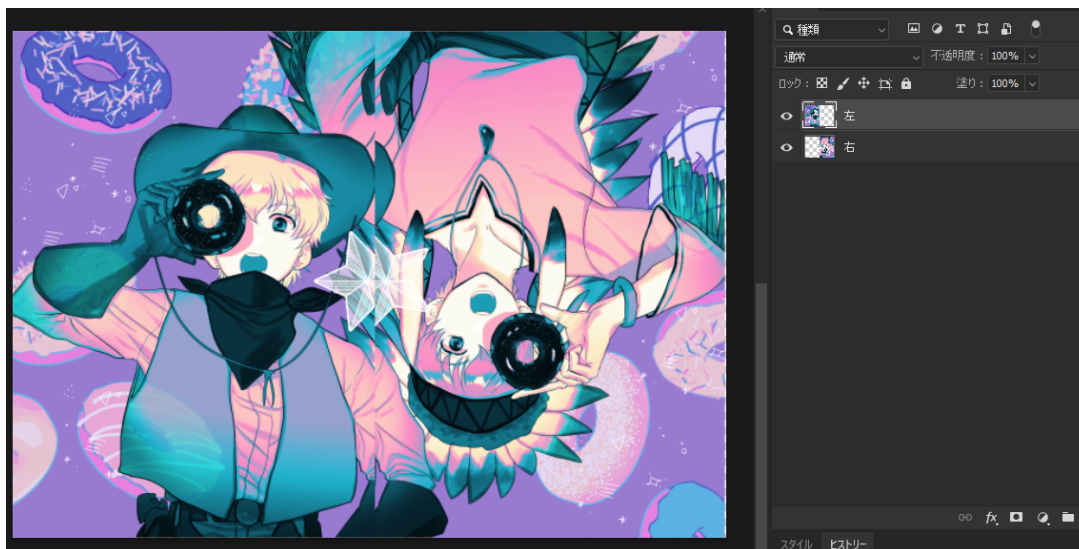
【見開きデータを確認する手順】

【見開き+天地左右 3mmの塗り足しが付いたキャンバスを作成】

B5 の場合…263mm×370mm

A5 の場合…216mm×302mm

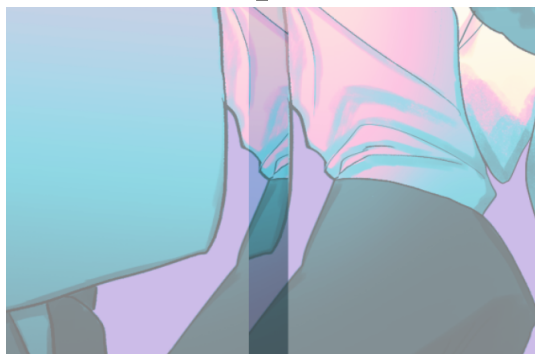
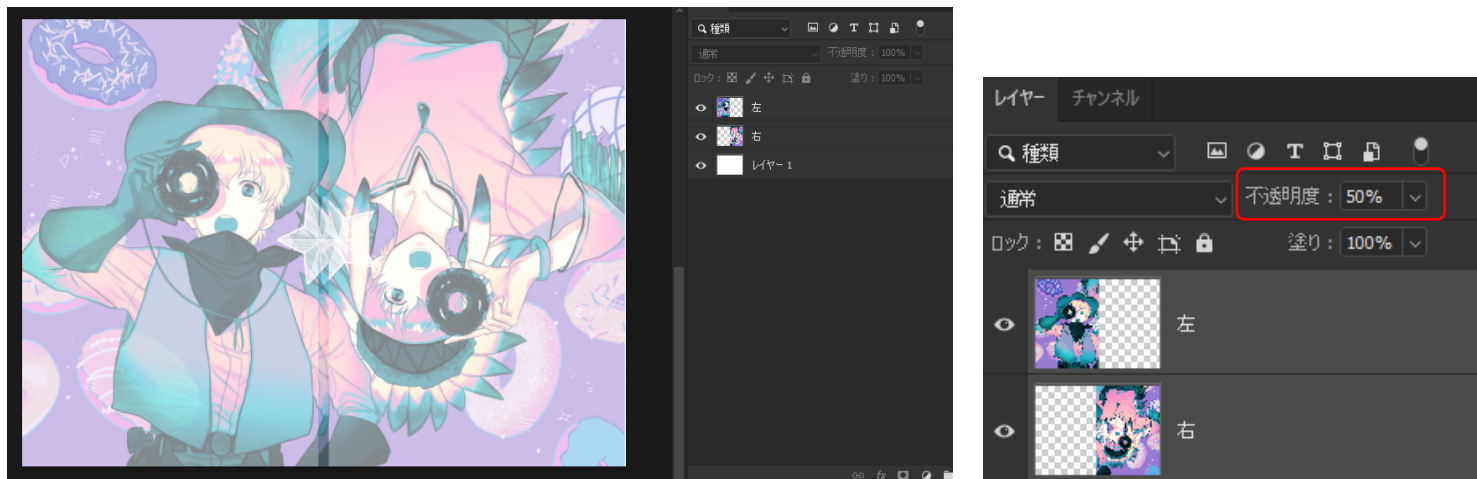
【③で制作したデータを左右合わせて貼りつける】



※分かりやすいようにレイヤーを分けています

【見開きデータを確認する手順】

【貼りつけたデータの不透明度を50%にした時の重なる部分の長さを測る】



★部分が6mmになっていれば見開きデータが成功している状態です。
見開きデータは制作が非常に難しいデータです。
使用する用紙やページ数によっても大きく仕上がりが異なります。
当PDFに関しましてもあくまでも作り方の参考として
ご認識のほどよろしくお願いいたします。